



2019-2020
No.1589
2019.10.3

会長：赤井幸夫 幹事：石坂一男
会員数：47 (休会 1) 会場出席：27 欠席：19
出席率：58.70% 前々回出席率：80.43%
点鐘：赤井幸夫会長 司会：小澤博之 副S A A
国歌斉唱
ロータリーソング：四つのテスト (タクト：北野浩司郎)
例会場：ホテルベラヴィータ 3F 12:30～



会長の時間

赤井幸夫 会長



先週の卓話で金井康二さんが旅行中のトラブルについて話されたので、本日は旅について、哲学者の三木清氏の『人生論ノート』より紹介致します。

旅について

ひとはさまざまの理由から旅に上るであろう。ある者は商用のために、他の者は視察のために、さらに他の者は休養のために、またある一人は親戚の不幸を見舞うために、そして他の一人は友人の結婚を祝うために、というように。人生がさまざまであるように、旅もさまざまである。しかしながら、どのような理由から旅に出るにしても、すべての旅には旅としての共通の感情がある。

旅に出ることは日常の生活環境をぬけることであり、平生の習慣的な関係から逃れることである。旅の嬉しさはかように解放されることの嬉しさである。ことさら解放を求めてする旅でなくても、旅においては誰も何等か解放された気持ちになるものである。ある者は実に人生から脱出する目的をもってさえ旅に上るのである。ことさら脱出を欲してする旅でなくても、旅においては誰も何等か脱出に類する気持ちになるものである。

出発点が旅であるのではない、到着点が旅であるのでもない、旅は絶えず過程である。

ただ目的地につくことをのみ問題にして、途中をあじわうことができない者は、旅の真の面白さを知らぬものといわれるのである。

人生の行路は遠くて、しかも近い。死は刻々に我々の足もとにあるのであるから。

しかもかくのごとき人生において人間は夢みることをやめないであろう。

真に旅を味わい得る人は真に自由な人である。旅することによって、賢い者はますます賢くなり、愚かな者はますます愚かになる。日常交際している者がいかなる人間であるかは、一緒に旅してみるとよく分かる

ものである。人はその人それぞれの旅をする。旅において真に自由な人は人生において真に自由な人である。人生そのものが実に旅なのである。

幹事報告

石坂一男 幹事



- ①地区から九州北部集中豪雨被害義捐金の募集の依頼がきております。10月25日迄です。
- ②9月26日の理事会において、35周年記念事業を立ち上げるためパスト会長会を10月中に開催する事が決まりました。
- ③11月22日(金)に、入会3年未満の新入会員の研修セミナーを予定しております。
- ④10月10日(木)、保坂ガバナー補佐が来訪されます。
- ⑤10月24日(木)は振替休会となります。
- ⑥10月31日(木)、森田ガバナー公式訪問です。

タクト

北野浩司郎 会員



出席報告

高橋昭紀 会員



ニコニコ BOX 報告

増田安永 副委員長



赤井 幸夫

島田崇弘会員の卓話、楽しみにしています。

小林 照夫

- ①9月30日に行われたラグビーワールドカップ日本大会で、日本はアイルランド戦で劇的な勝利だった。日本ガンバレ。
- ②ドーハで行われている世界陸上選手権にて、50km競歩で鈴木雄介選手が日本人初の金メダルを獲得した。過酷なレースを制し、おめでとう。

宮田 美行

奇跡ではない。実力である。タイムアップを告げる銅鑼が響いたあと、北半球最強国アイルランドは同点へのラストアタックを開始することなく、あっさりとタッチボールを蹴り出し敗北を受け入れた。ここまで来たか日本。本当に強かった。でもまだ何も手にしていない。悔ななかれ。仕上げは謙虚に。慎重に。

原澤 ふじ子

先週の金井さんの卓話でワインを頂きました。「オブリガダ！」ありがとうございました。

木村 博

妻の誕生日、素敵なお花を頂きありがとうございました。年々、花を見ると感激するようになってきて、歳を重ねるとそうなるのでしょうか(笑)

古池 好幸

妻の誕生日に綺麗な花をありがとうございました。

島田さんの卓話、楽しみにしています。

高橋 佳代

今日は中学3年生の娘が英語の弁論大会で県大会に出場することになり、欠席させていただきます。ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。

ご寄付の依頼

会員の皆様に、『沼田中央RC育英奨学』と『米山記念奨学』と『ロータリー財団（年次寄付、ポリオ・プラス）』より寄付のお願いがありました。



沼田中央RC育英奨学について

奉仕プロジェクト委員会 植村仁委員長より



米山記念奨学について

米山記念奨学委員会 田村総一郎委員長より

新入会員 卓話

島田崇弘 会員



はじめましてという事で、ご自身の経歴について話されました。

高校時代は部活動で野球部に所属し、三年間頑張って練習に明け暮れたそうです。

卒業後は建築の勉強のため上京して、その後は東京の住宅リフォーム会社に営業職として就職したそうです。いろいろあって退職した後は、建売住宅の会社で現場監督として働いたり、大手住宅メーカーでも働いたりしたそうです。

大変な時期もありましたが、今はそれらの経験が勉強になったと思い、現在の仕事(ヒカリホーム株式会社)に役立っているとの事でした。